

プログラミング演習 I

－ 演習について－

平成 20 年度担当：時井、松村

1 はじめに

プログラミング演習 I は、10 回に渡ってプログラミングの基本を学ぶことを目的とする。本演習は、プログラミングを通して、論理的思考力を身につけてもらうことを主眼としている。もちろん、プログラマーを目指す人にとっても十分基礎となるものである。

2 評価に関して

- 出席とチェック項目、小テスト、レポート (N 回) を総合的に評価する。
- レポートを 1 回でも出さなかった場合は、単位を取得できない。
- 締め切りに遅れたレポートは、受理しない。
- 同一又は類似レポートは、見せた方も見た方も単位を取得できない。
- レポートの差し替えや再提出は認めない。

3 教科書について

教科書として、「たのしい Ruby 第 2 版 Ruby ではじめる気軽なプログラミング」を使用する。

4 演習のページについて

<http://klis.tsukuba.ac.jp/klib/> の「プログラミング演習 I」

担当者からの連絡は主に Web ページによって行う (緊急を要するような連絡は個人宛のメールや掲示によって行うこともある)。最低でも週 1 度は最新情報を確認するように習慣づけよう。演習時間に使用する資料も本ページに掲載するので、あらかじめ各自ダウンロード、印刷し、必ず予習をしておくこと。演習資料の構成は、「演習」の繰り返しである。